

平成26年5月26日

平成26年度 全国木材資源リサイクル協会連合会

通常総会議事録

開催日時 : 平成26年5月16日(金) 13:30~15:00
場 所 : 江東区文化センター3階レクホール

総会員数 : 正会員 157社+6協会=163団体、賛助会員12社
出 席 : 正会員 60社、72名、賛助会員 7社、9名
事務局員 4名、プレス2名、計87名
委任状 : 80通

議事内容

司会 事務局長 原 信男

- 1 開会のことば 北日本協会副代表理事 中野 光 氏
- 2 理事長挨拶 鈴木 隆 理事長
お忙しい中、当連合会の総会にご出席いただき、厚く御礼申し上げます。
日頃連合会活動に絶大なご協力を賜り、お陰様で平成25年度は稔りある1年になった。
午前中に、関東協会の総会があり、出席した中でいろいろ考えさせられたが、全国で約170社の会員があり、そこで扱っている木質チップが概ね年間300万トン強あるが、建設系木くずが概ね年間400万トンぐらい出ており、この80%強がリサイクルされていることを考えると、我々のシェアがいかに大きくなったかがわかる。
また、これらの数値を正確に出すに当たって、我々の活動が大きく貢献していると言える。
さて、平成26年度はいよいよFITの関係もあり、山の材が下りてくる年を迎えるが、それに伴い、それぞれの地域で材の確保、不足という調達に関する需給バランス問題が大きくクローズアップされてくる。
当然、ここ数年様々な論議が行われてきたチップの品質の確保についても、ますます関心が集まることになる。
また、毎年年末に提出している国への要望についても、従来以上に重要

な位置づけになるので、会員の声を集約してさらに前進して行けるようにしたい。

この様に、これからクリアして行くべき重要課題は山積しているが、多くの熱意ある会員の力により、1年後にはすべて「前進した。」と言えるようになることを祈っている。

本日は、長時間になるが、平成 26 年度の活動の出発点になるので、是非慎重なご審議をお願いして、挨拶としたい。

司会から総会成立の報告

本日の総会の出席は60社で、欠席正会員から80通の委任状が提出されており、合わせて140社の出席を得たことになる。

これは、正会員数163社の過半数82を上回っており、総会が成立していることを報告した。

3 議長選出

本日の総会の議長について、鈴木 隆 理事長を議長とすることで了解を求めたところ、全員の拍手により承認された。

4 議事録署名人選出

議事録署名人の選出については、事務局一任との声があり、関東協会の徳山重男氏と、九州協会の河本一成氏を指名したところ、両氏とも了承した。

5 議事

議長 鈴木理事長

第1号議案 平成 25 年度事業報告について

原事務局長から資料に基づき、活動状況について報告した。

25年度は定款に基づく6つの事業を行ったが、イベントへの参加、国への要望等、それぞれの事業の実施状況の報告を行った。

なお、平成 25 年度から東京都の指導により、定款に定める事業ごとに支出額を集計し、取りまとめる方式とした。

特に昨年度は、「木質チップ市場価格」の公表、小学校向け「出前講座」や「木質バイオマス証明実務セミナー」の開催などを、さらに北欧の木質バイオマス利用先進地域に視察団を結成して研修を行うなど、多くの新規事業を実施し、それぞれ成果を得た。

議長が質問を求めたが特になく、拍手により了承された。

第 2 号議案 平成 25 年度収支決算及び監査結果について

資料に基づき事業会計決算報告及び事業会計財産目録について事務局から説明した。

活動計算書の経常経費合計額は 6,234,982 円、事業会計貸借対照表の正味財産合計額は 5,553,862 円であった。

引き続き田中一正監事から、4 月 24 日に矢吹賢二氏とともに実施した監査結果について報告した。

議長が質問を求めたが特になく、拍手により了承された。

第 3 号議案 平成26年事業計画(案)

第 4 号議案 平成26年度当初予算(案)について

関連ある項目なので、一括して説明した。

資料に基づき平成 26 年度の事業計画、及びこれを実施するための活動予算書及びその内訳について事務局から説明した。

特に平成 25 年度には、F I T 制度の進展に併せて、「木質チップ市場価格」の公表をスタートさせたが、平成 26 年度はさらにこの検証と運用について検討すること、品質規格を見直すことなどを重点的な事業と位置付けることとしたこと等の説明を行った。

また、前年度は海外の先進地域視察を実施したことから、今年度は国内の先進事例について調査することとした。

今年度新たにに取り組む事業として「国際貢献と人材育成」があり、今後避けては通れない課題について、いよいよ検討に着手することとした。

これらの事業を実施して行くための当初予算案については、活動予算書として、会費収入 4,396,000 円、寄付金 3,000,000 円を見込んでいる。

支出としては、連合会事務所の賃借料が、2 年更新契約の再契約年に当たるため、その保証金等が含まれるため前年度の約倍額の 1,080,000 円を計上している。

また、調査費として先進地視察のための経費を、委託費として認定 N P O 法人申請に当たり行政書士等に委託する費用を見込んでいる。

また備品購入費としてパソコン、コピー機の更新を見込んで 600,000 円計上していることなどを説明した。

その結果、収入見込み額は、7,496,000 円、前年度からの繰越額が 5,553,862 円となり、平成 26 年度の当初予算総額は、13,049,862 円となった。

議長が質問を求めたが特になく、両議案とも拍手により了承された。

第5号議案 仮認定NPO法人化の見通しについて

認定NPOになるためのステップとして仮認定を受ける必要があるが、そのための申請を平成26年7月にする予定である。

そのための要件を説明し、特に今後課題となる寄付額の比率と、適合寄付者数について説明を行った。

まだクリアすべき課題は残っており、申請書が受理されれば事務所への現地調査が入るので、その対応についても課題があるが、一つ一つクリアできるように、会員各位の協力を呼びかけた。

議長が質問を求めたが特になく、拍手により了承された。

諸般の報告

(1) 調査広報委員会活動報告

弘山 専務理事

平成24年度に引き続き「木質チップ市況価格の見える化」をワーキンググループを構成して検討した結果、9月に一定の結論を得て、各会員にアンケート調査を実施し、11月にホームページ上で公表に踏み切った。

まだ、調査方法、公表方法に課題が残っているので、引き続いて検討を続ける方針である。

これに伴う、木質チップ品質基準についても、「木質バイオマスエネルギー利用推進協議会」の統一規格検討状況に合わせて対応を検討し、当連合会の意見を反映するような規格案とすることができた。この規格案の取り扱いについても、様々な問題について引き続き検討をする予定である。

さらに、出荷するチップへの混入物排除対策について検討した。

これら、平成26年度に委員会として検討すべき課題が多いので、委員会の構成を強化する必要があり、委員の増員について4月の理事会で提案したところ了承されたので、新委員の構成案について報告した。

(2) 寄付金の募集について

平成26年度の当初予算にも収入見込みとして前年並みの300万円を計上してある。

FITの施行に伴う新入会により一時的に収入額が増えたが、事業量も増えているので、いずれ資金を取りくずすようになることを想定しなくてはならない。

そのためにも寄付金は不可欠であるとともに、認定NPO法人化の要件でもある任意性のある寄付について協力をお願いしたい。

(3)FITの木質バイオマス証明の認定について

現在、24社の28事業所の認定を行った。

事前相談は、依然として数多く寄せられており、東京と福岡で開催した実務セミナーでも多くの関心が寄せられているので、今後も重点業務として対応して行きたい。

その他【報告事項】

ア、「木材サミット2014」について

7月3日に開催が決定した。会員のオブザーバー出席が可能なので、おって詳細が決まり次第通知する。

イ、「エコライフフェア2014」について

環境省主催の環境月間行事の一環として6月7日(土)、8日(日)に代々木公園で開催されるこのイベントに3年ぶりに出展する。

関東協会の役員を中心にスタッフ動員するが、都合つく方は多数参加されたい。

(4)北欧視察報告

原 事務局長

報告書を作成して本日配布した。本日配布の報告書はモノクロコピーだが、資料は近日中にホームページにも掲載する予定で、そちらはカラー版の予定なので、図表や写真などはそちらを参照されたい。

ここで平成25年度中に入会した新入会員5社(関東協会4社、東海協会1社)の紹介を行った。

以上ですべての報告が終わり、議長から、全体についての発言を求めたが、特になく、通常総会におけるすべての審議を終了した。

6 閉会の辞

東海協会会長 山口 昭彦 氏

長時間にわたり慎重な審議をいただき感謝申し上げます。

これで平成26年度通常総会を閉会する。

閉会 14:55

以上をもって全ての議案の審議は終了し、この議事録通り相違ないと
して、議長及び議事録署名人において記名捺印する。

平成26年5月26日

議 長 鈴木 隆 (印)

議事録署名人 徳山 重男 (印)

同 河本 一成 (印)

議事録作成人 弘山 知直 (印)